

琉球大学農学部

Faculty of Agriculture

亜熱帯地域農学科

亜熱帯農林環境科学科

地域農業工学科

亜熱帯生物資源科学科

大学院農学研究科



農学は人類の知の結集

農学とはなんですか？

人類は古来より、狩猟から農耕生活になる過程で生き抜くためにその知恵を蓄積してきました。それは農業・畜産にとどまらず、森林や共生する生物の生態やその遺伝子情報、土木や工学、そして調理方法に至るまで、総合的な知識を総動員することでした。そのことで人類は最大の脅威であった飢えから逃れ、繁栄に繋げてきました。

つまり農学とは古来からの先人の知の結集です。

食料や環境・エネルギー問題が注目される中、先人の知を学びつつ新しい農学のあり方が求められています。特に亜熱帯地域の農学については、世界的に大きな生産地があるのにも関わらず、まだ未知のことが多いのが現状です。

一緒に新しい時代を切り開く知の冒険へ旅立ちましょう。



琉球大学農学部だからできること

唯一の亜熱帯農学

琉球大学農学部は亜熱帯に位置する日本で唯一の農学部です。亜熱帯地域は四季がはっきりしている本州や九州の温帯地域に比べて、年間を通して温暖なため、自生する植物や生き物も大きく異なります。そのため、いまだ解明できていないことが数多く残されています。一方、日本では唯一ですが世界に目を向けると南方に広がる亜熱帯地域の入口でもあります。

人口増加や気候変動に伴う食糧問題を解決するためには、亜熱帯の自然を保全しながら自然からの資源を活用していくことが必要で、人類の重要な研究テーマとなっています。



研究棟のすぐそばに広大な農場

琉球大学農学部の特徴のひとつに研究棟のすぐ目の前に「千原（せんばる）フィールド」と呼ばれる東京ドーム5個半分、26万㎡という広大な土地を有している事があげられます。農場には畑、ビニールハウス、畜舎も備え、研究室で学んだ事をすぐに実習の場で試す環境が整っています。このほか、世界自然遺産に指定されている沖縄本島北部に「与那フィールド」も有していて固有の動植物が多く生息し世界的に注目されているやんばるの森で研究することができます。



生産から食と健康まで 幅広く学べる

琉球大学農学部は個性あふれる4つの学科からなり、さまざまな科学分野を統合した総合科学を幅広く学ぶことができます。豊かな教養と農学の基礎を身につけるための授業を設けているほか、多くの実習・実験もあります。学科ごとに特徴ある資格が取得できます。



Subtropical Agro-Production Sciences

亜熱帯地域農学科

亜熱帯の自然環境と農業の発展が両立する持続的農業の構築を目標としています。農業・林業・畜産業の合理的な生産のみならず、人間の社会的活動の側面として流通や消費など経済的分野からの視点を含むことで総合的に農業を捉えます。



詳細は↓



Subtropical Agro-Environmental Sciences

亜熱帯農林環境科学科

亜熱帯の生物の特性を解明したり、家畜や農作物をどう管理し増やしていくのかを探求します。また、亜熱帯における森～川～海に至る陸域の生態系に対する理解を深めることで、人と自然環境の調和が取れた社会の実現を目指していきます。



詳細は↓



Regional Agricultural Engineering

地域農業工学科

工学・数理的視点から島が多い日本の亜熱帯地域に合う循環型農業の構築を目指しています。合理的かつ自然への負荷が少ない農村をどう作り上げるかやスマート農業に関連する最新技術の利活用に取り組みます。



詳細は↓



Bioscience and Biotechnology

亜熱帯生物資源科学科

亜熱帯の動植物や微生物の機能性や特性を調査、新たな食品、発酵品、医薬品などの開発に活かすことを目指します。さらに、農学の幅広い知識と地域特性を理解した栄養士の養成を通して豊かで健康的な長寿社会の構築に貢献していきます。



詳細は↓



Graduate School of Agriculture

大学院農学研究科

詳細は↓

